

祈りの勇者に変えられる

私たちには様々な願いや望みがあります。しかしこれらについて、毎日、神様にお祈りしているかと言えば、案外そうではありません。殆どの人はそれほど頻繁に祈っていないのです。なぜでしょうか？ その理由は、無意識のうちに、どこか根っここの所で「こんなこと祈っても、神様は応えられない。祈るより、もっと良い方法が何かあるはずだ…」と、人の心に入れて来るサタンの言葉に、同調してしまうからです。

頭の中では、全能の神様を信じています。しかし祈ろうとすると、心に刻みつけられている肉の思い、不信仰が動き出すのです。

また、祈り始めると、直ぐにサタンは心の思いをボンヤリさせます。私たちは中身の無い、浅はかな言葉を言っている自分に気づき、自分が偽善者であるような気がします。そして祈るのを止めてしまうのです。しかし、神様は私たちを変える力があります。

私たちの心を知っておられる神様は、私たちの現状を認め、告白して、求めるのを待っておられます。神様は神の武具を与え、私たちを「祈りの勇者」に変えることができます。

聖書の学び

I、神様は、人の一生を変える力がある

1、明日は殺される前夜のペテロ様子はどのようにでしょうか

①ペテロの最悪の状況は、どのようでしたか？ (v2～3)

②明日は殺される夜、ペテロに付けられた厳重な監視について、 (v4、6)

③とても逃げられるはずがない、ペテロの心はどうでしたか？ (v7)

2、主の弟子ペテロは、以前はどのような人でしたか？

①ペテロは、どのような人だったのでしょうか。

②弟子のペテロのことで一番知られていることは、どのような事ですか？

3、このようなペテロが変えられたのは、なぜだと思いますか？

Ⅱ、神様は、不完全な祈りにも応えて下さる 使徒12：14～15

1、教会ではペテロのために心を合わせて祈っていました。
ペテロが帰って来たことを聞いたときどうだったのでしょうか？

①クリスチャンたちは(v15)→

②神に熱心に祈り続けていた(v5) → 各々のクリスチャンの心はどうか？

2、何人かで祈るとき、あなたは他の人が祈っているとき、どのような
思いでいるのでしょうか？

Ⅲ、神様は、神の武具を与えることができる

1、神様は、信じて、期待するとき働かれる。

ス波尔ジョン牧師は弟子たちそれぞれに、野外伝道集会を開くように言いました。

多くの救いの恵みの報告する弟子たちの中に、一人失望して帰って来た青年がいました。

彼の話聞いて、ス波尔ジョン師は「あなたは自分が説教するたびに、神の力が働き、魂を
救ってくださると期待していませんね。聖書に『あなたの信仰の通りになる』とあります。

結果を期待する信仰がなければ、あなたはそれを得ることはできません」と言いました。

(マタイ9：29)

2、祈る場所に、みことばを書いて置いておく。

ある牧師は、「神様はおできになる」と心で知って、確信できるまで、神様の全能を思い起こさ
せてくれるみことばを書いて、いつも祈る場所の前に置きました。根気よく祈り求めること
により、「どんなことでも神様は応えて下さる」と信じ、祈る者にされたそうです。